

アルモニア

ARMONIA

村上正治記念
ちばマスタース
オーケストラ

広報紙
2014夏号(通巻第13号)
平成26年(2014年)7月31日

新団長就任のごあいさつ



4月24日(木)に行われた「平成26年度定期総会」で、諸先輩の皆様を差し置いて、四代目団長に選任されたことは、誠に名譽なことであるとともに、責任の重さをひしひしと感じて

いるところです。幸いなことにほとんどの役員が留任され、就任早々の6月29日(日)市川文化会館での「響き合う心と音楽」第14回ふれあいコンサートでは、急遽変更になった会場への対応をはじめ、ほぼ滞りなく運営することができました。これも、市川市、ヤマザキ製パン様をはじめ、私たちの活動理念をご理解をいただき、ご協力ご援助を賜りました全ての団体・個人有志の皆様、そしてほか当日ご来場いただいた皆様と団員各位のおかげと深く感謝申し上げます。これを機会に、村上正治先生の志「音楽を楽しむ喜びを一人でも多くの人へ」を活動理念として掲げている我がCMOの活動が、少しでも元氣のあるものになるよう、また、県内各地にあるアマチュアオーケストラとは多少とも趣の異なる活動の推進に向けて、団員の皆様の経験に培われた叡智とエネルギーを結集できたらと考えています。

さて、本年度は前述した第14回ふれあいコンサートを皮切りに、老人ホーム訪問演奏、信篤公民館文化祭、千葉県音楽祭、トヨタコミュニティコンサートin銚子特別支援学校、等が計画され、活動も年々充実して参りました。平成17年に組織されたCMOは来年度が結成10年目の節目の年になります。ここで、設立の趣旨を再確認しつつ、新しい着実な歩みを進めていきたいと思っております。

個々が楽器を奏で、マエストロのご指導の下で曲を作り上げる喜び、そんな私たちの演奏する姿・音楽に触れ「共に喜びを感じて下さる方々が一人でも増えるようになれば」と願ってやみません。

CMO団長 飯村毅

初めての分奏で得られた成果

- 弦指導：三戸誠先生 - 管指導：佐藤宗男先生 -

懇切なご指導で一步前進へ

第14回ふれあいコンサートでのブラームス二番の最後、盛り上がりましたね。自画自賛になりますが、今まで9年間積み上げてきた汗と涙の結晶が今回の演奏に進歩のしるしとして現れてきたように思います。指揮の齋藤純一郎先生、弦分奏の指導者三戸誠先生、管分奏の佐藤宗男先生、そして私たちの練習時に素晴らしいチェロの音で音楽の行くべき道に導いて下さった元ウィーン交響楽団の吉井健太郎先生に心から感謝申し上げます。

私たち弦楽器の奏者は、三月から五回にわたって三戸先生の特別レッスンを受けました。音大で教えておられる先生は、曲目の細部にわたり、私たちの持っている技術でいかに音楽にしてゆくかを「弓の持ち方から始めて、楽器の構え方、左手の弦の押さえ方、ヴィブラートのかけ方、アクセントの付け方など」それぞれに楽器に即して懇切に指導して下さりました。時には、「自分のパートがソロを弾く場合には」と言っていて、ご自身でヴィオラを構え、顔を引き締めて、「見てください」と、大きな弓を使う心理面でのアプローチの仕方、pとfの効果的な弓の毛の使い方や弓の位置、ヘミオラ(3拍子の曲の連続した2小節)の弾き方等々、具体的に古典派・ロマン派など作曲家や曲目による弓の持ち方の違い、例えばハイドンを弾く場合は弓を短く持つ、などの実際的なアドバイスも参考になりました。

課題が一つ出ました。pやppの音の弾き方です。私たちにはこれがなかなか難題で、指揮者にも時々注意されていることですが、今後みんなで意識的に勉強していきましょう。さあ、次の曲は何でしょう？ 今後、先のご指導をお待ち申し上げます。

CMOソロ・コンサートミストレス
松山和子

分奏練習はアマチュア冥利

CMOのメンバーには、何らかの形で自分の楽器に関するレッスンを受けた人が多いと思いますが、私自身過去60数年間に3人の専門家のレッスンを受けてきました。この間にプロ・アマを問わず日本の音楽のレベルが格段に進歩し、レッスンの内容も大きく変わり、正に目から鱗が落ちる思いです。

昔のアマオケでは分奏の指導者を招くことは滅多にありませんでしたが、現在では当たり前前のこととなりました。今更私のごとき技量の劣る者が申すのも憚られますが、オーケストラ全体の練習では、あまり曲に馴染んでいない時点では、自分のパートの役割、また管楽器と管楽器の相互の関係が、よく把握しにくいものです。このような時に弦楽器と管楽器が独自に分奏を行い、お互いの旋律や和音の関わり合いを十分理解することがとても大切だと思います。

分奏を通して、より明確に音楽の流れのなかで自分の役割が確認でき、同時にその音楽に溶け込む心地よさを楽しむこともできるのではないのでしょうか。弦楽器と管楽器がそれぞれの分奏練習をした後の全体練習の際に、お互いの分奏の成果を確認し合った時の素晴らしい達成感、アマチュア冥利に尽きる思いです。

分奏には優れた指導者が欠かせません。幸いCMOでは、市川交響吹奏楽団の常任指揮者である、佐藤宗男氏に管部門のトレーナーに就任していただいています。同氏は専門の金管楽器のみならず長年にわたり吹奏楽の指揮、編曲を手掛けられ、CMOの常任指揮者の齋藤純一郎先生のお弟子さんでもあり、最優秀の指導者です。弦楽器も優れた指導者に恵まれています。管楽器も負けず分奏に励もうでなありませんか。

CMO顧問・トランペット・管打楽器統括
桑村益夫

2014年度定期総会が開催されました

- 4月24日(木)、市川市信篤公民館で、2014年度定期総会を開催。2013年活動報告・同会計報告・同監査報告、2014年度活動計画・同予算案・新役員案について審議が行われ、議決・承認されました。
- 新役員は、左記の通りです。
- ・ 団長：飯村毅
 - ・ 副団長：小林一史、村上葉子
 - ・ 幹事長：佐久間英機
 - ・ インスペクター：佐久間英機
 - ・ ソロ・コンサートミストレス：松山和子
 - ・ コンサートミストレス：星千鶴子、相川みどり
 - ・ ライブラリアン：飯村毅
 - ・ 新井眞
 - ・ 選曲委員長：小川邦生
 - ・ 選曲委員：飯村毅、小林一史、村上葉子、松山和子、相川みどり、伊藤充信、佐久間英機
 - ・ 広報：山岸修、井上正男、小菅雅幸、吉江恭一郎
 - ・ 渉外：井上正男
 - ・ 会計：久田しげ子、大石美智子
 - ・ 監査：齋藤勉
 - ・ 顧問：横田朝之、桑村益夫、荒井眞・小川邦生

幹事長の信任をお受けして

CMOの理念は、冠名に謳われている、村上正治先生の志、「音楽を楽しむ喜びを一人でも多くの人へ」という言葉の実践にあります。そのための環境づくりと団員一人ひとりのお役に立てることを念頭に置いた組織づくりが最も重要であると考えております。また将来を展望した音楽づくりとも大切なことです。

さて、楽しい楽団と良い音楽をつくり上げるために、団員一人ひとりに何が求められているか、団員の皆様は十分ご理解され、お考えをお持ちのことと思います。これまで皆様方からいただきました貴重なご意見(「アルモニア」12号参照)を参考にし、また、団内のコミュニケーションをさらに高めたいと思っております。

音楽の偉大な力を希望の灯とし、団員一人ひとりがより高いレベルをめざしつつ、ゆるぎないCMOの存在を実現するために、今なすべきことは多くあります。大胆かつ迅速な行動が求められています。

齋藤先生のご指導をいただきながら、皆で手を携え、さらに強固なCMOを作り上げていきましょう。「誰かがやってくれるだろう」ではなく、「自分が何ができるか」を考えましょう！ 人生の達人であり、豊かな経験と、叡智良智をお持ちの皆様なら、必ず達成できると信じております。

CMO幹事長 佐久間英機

次回演奏会のお知らせ!

<信篤公民館 第25回文化祭>
日時：平成26年10月18日(土)
会場：市川市信篤公民館 体育館
指揮：齋藤純一郎
曲目：グリーグ：ペールギュント組曲より
ドヴォルザーク：交響曲第9番 他